

保護者 様

牧之原市立地頭方小学校長

令和7年度11月教育活動に関するアンケートの分析・結果について

新春の候、保護者の皆様方におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろから本校教育活動に御支援、御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、先日、皆様に学校評価アンケートをお願いし、多くの方に御回答をいただきました。御多用の中、本当にありがとうございました。

保護者の皆様の回答を児童と教職員の回答とともに、集計し、整理分析をしましたので、下記のとおり御報告させていただきます。また、今後、さらに来年度の教育活動に生かしてまいります。

今回のアンケートの結果をもとに「地小の強みや地小のよさ」「来年度に向けて、今後どんなことに取り組んでいったらいいか」について、職員が話し合いました。以下がその時に出された意見です。

地小の強みやよさ	☆人懐っこい ・誰とでも仲良くできる子が多い ・友達のよさやがんばりを見つけ、自分のことのように喜ぶことができる ・困っている人を助けたり、声を掛けたりすることができる ☆見通しがもてると、力を発揮できる ・「これをやりたい」「これをやってみる」という先の見通しがもてると、それに向かっていく力がすばらしい ・やりたいことが定まると、達成するまでやり切ることができる ☆元気で明るい、不登校が少ない ・「学校が楽しい」「学校へ行くことが楽しみ」と感じている子が多い ・長期間学校を欠席する子が居らず、元気に明るく生活できている ☆地域の方との関わりが多い ・授業、クラブ活動など様々な場面で地域と方との関わりがあり、子供たちや学校を支えていただいている ・子供たち、教職員も地域の方との連携を前向きにとらえ、感謝している
今後・来年度に向けての取組	☆他学年・他学校との交流 ・地小の子供たちの人懐っこさを生かし、他学年との交流（ペア活動等）をもっと頻繁に行ったり、他の学校やこども園の子たちと交流を深めていったりしたい ・クラス替えがなく、どうしても友人関係が固定しがちなため、他校の子たちと交流し、他者を知る機会を作りたい ☆褒める・価値づける機会をさらに増やしていく ・自分に自信がない子がまだまだ多いため、褒める・価値づけることは今後継続して意識していきたい ・「気づきの星」をもう少し発展・進化できないか考えていきたい ・家庭と子供たちのよさを共有し、学校と家庭の両方で褒めることと価値づけることを意識していきたい ☆自分にあった目標をたてることで、見通しをもたせる ・やるべきことがはっきりするとそれに向かい、力を発揮する子供たちだからこそ、その子に合った目標を設定する ・教師と対話をすることで、子供たちの目標や自分がやるべきことを明確にさせたい ☆結果よりも過程を重視していく ・目標に向かって一生懸命取り組んだ姿を褒め、認めていきたい ・失敗も認め、挑戦したことに意味があることを子供たちに伝えていく

保護者の方からの御意見・御要望

たくさんの御意見・御要望をいただきありがとうございました。特に多かった御意見・御要望を抜粋して載せさせていただきます。

Q 地頭方小の教育に対して、これからも続けてほしい、大切にしてほしいと思うことがありましたら、御記入ください。

1 学校運営に関する意見

- ・音楽コンサートを継続して欲しい
- ・アースランチや校外活動や見学、自然教室などの活動は今後も続けてほしい

・音楽コンサートは、今後も継続していく予定です。内容については、担当する委員会の子供たちが考え、みんなが楽しめるコンサートを工夫してきます。

・5年生のアースランチ、自然教室は来年度も行います。また、地域の方との交流が盛んな校風を生かし、様々な校外活動も行っていきたいと考えています。

2 教育・指導方法に関する意見

- ・自主性を高める活動は今後も継続してほしい
- ・子供の思いを受容していただき、子供の気持ちや頑張りを引っ張り上げてくださっていること
- ・子供一人一人の性格に向き合ってほしい
- ・平等に子供たちを見て欲しい
- ・元気なあいさつとありがとうとごめんなさいが言えるような環境整備を家庭と学校で連携していきたい

・本校は、「子供主体」という考え方を大事にし、子供の「やってみたい」という気持ちを引き出し、子供の思いに沿った教育活動を行っています。今後も、「子供主体」を柱とし、子供が主体的に活動に取り組めるように支えていきます。

・学校重点目標の「自分色で輝こう」に向け、子供たちが「自分色」「自分のよさ」を発揮できるように子供たち一人一人と向き合っていきたいと思います。

3 いじめやトラブル対応について・学校とのコミュニケーションに関する意見

- ・いじめ対策の必要性
- ・先生方がトラブルの際にどのように対応するかを教えてほしい
- ・子供が困ったときにじっくり話を聞いてほしい
- ・子供同士のトラブルへの具体的な対応策とその後の様子を教えてほしい
- ・面談以外の情報提供の重要性
- ・連絡ノートでのお知らせへの丁寧な対応
- ・親や子供の気持ちを理解してくれる先生には感謝しています

・子供同士のトラブルがあった場合は、誠意をもって対応をして、保護者の方にも連絡をさせていただいていますが、今後も保護者の方との連絡・連携をさらに密にし、情報共有を図っていききたいと思います。

4 カウンセリングの必要性

- ・カウンセリングの先生に常駐してほしい

・スクールカウンセラーは、他校のカウンセリングも掛け持ちしているため、申し訳ありませんが、常駐は難しいです。来年度も、月に1～2回の本校への勤務は予定していますので、ぜひ御活用ください。

令和7年度学校評価結果(11月)

			とても思う	思う	あまり 思わない	思わない
1	地頭方小学校は楽しい(児童) お子様は、学校が楽しそうである(保護者) 子供たちは、学校生活を笑顔で過ごしている(教職員)	児童	64.6%	30.6%	3.4%	1.4%
		保護者	21.1%	71.5%	5.7%	1.6%
		教職員	26.3%	73.7%	0%	0%
2	友達を上下で見ることなく、一人一人のよさを大切にしている(児童) お子様は、だれとでも仲良くできる(保護者) 子供たちは、友達を上下で見ることなく、一人一人のよさを尊重しあっている(教職員)	児童	37.4%	55.1%	6.8%	0.7%
		保護者	11.4%	69.1%	18.7%	0.8%
		教職員	0.0%	89.5%	10.5%	0%
3	「梅っ子のやくそく」を守ることができている(児童) お子様は、ルールを守り、穏やかに生活している(保護者) 子供たちは、「梅っ子の約束」を守っている(教職員)	児童	25.9%	58.5%	15.0%	0.7%
		保護者	16.3%	77.2%	5.7%	0.8%
		教職員	10.5%	42.1%	47.4%	0%
4	あいさつがしっかりできる(児童・保護者・教職員)	児童	57.1%	36.1%	10.9%	1.4%
		保護者	12.2%	68.3%	17.9%	1.6%
		教職員	5.3%	47.4%	47.4%	0%
5	「ありがとう」「ごめんなさい」がきちんと言える(児童・保護者・教職員)	児童	57.1%	36.7%	6.1%	0%
		保護者	15.4%	68.3%	16.3%	0%
		教職員	10.5%	68.4%	21.1%	0%
6	やるべきことは、がんばることができた(児童) お子様は、やるべきことがきちんとできている(保護者) 子供たちは、やるべきことをやろうとしている(教職員)	児童	38.1%	51.0%	10.2%	0.7%
		保護者	10.6%	65.0%	23.6%	0.8%
		教職員	15.8%	73.7%	10.5%	0%
7	そうじは「だ・い・じ」が守れている(児童) 子供たちは、そうじは「だ・い・じ」が守れている(教職員)	児童	36.1%	49.0%	13.6%	1.4%
		保護者				
		教職員	15.8%	57.9%	26.3%	0%
8	授業が楽しい(児童) お子様は、学校の授業が楽しそうである(保護者) 子供たちは、授業が楽しそうである(教職員)	児童	55.1%	37.4%	5.4%	2.0%
		保護者	8.1%	68.3%	22.8%	0.8%
		教職員	10.5%	78.9%	10.5%	0%
9	授業の内容がわかる(児童) お子様は、学習内容が理解できている(保護者) 子供たちは、学習内容を理解している(教職員)	児童	38.8%	53.1%	8.2%	0%
		保護者	6.5%	69.9%	22%	1.6%
		教職員	0%	68.4%	31.6%	0%
10	友達や先生の話をしっかり聞くことができた(児童) 子供たちは、先生や友達の話をしっかり聞くことができている(教職員)	児童	45.6%	49.7%	4.8%	0%
		保護者				
		教職員	5.3%	68.4%	21.1%	5.3%
11	勉強のやり方や伝え方を、自分で決めることができた(児童) 子供たちは、自分に合った学び方、伝え方を自己決定・自己選択できている(教職員)	児童	36.7%	47.6%	15.6%	0%
		保護者				
		教職員	5.3%	63.2%	31.6%	0%
12	自分の考えを、自分の言葉で伝えることができた(児童) お子様は、自分の気持ちや考えを言葉で伝えることができている(保護者) 子供たちは、自分の考えを自分の言葉で伝えることができている(教職員)	児童	37.4%	42.2%	20.4%	0%
		保護者	10.6%	58.5%	28.5%	2.4%
		教職員	0%	73.7%	26.3%	0%

			とても思う	思う	あまり 思わない	思わない
13	友達と助け合いながら学ぶことができた(児童) 子供たちは、友達と助け合いながら学ぶことができている(教職員)	児童	46.9%	44.9%	7.5%	0.7%
		保護者				
		教職員	15.8%	78.9%	5.3%	0%
14	「自分色」を発見することができた(児童) 子供たちはの「自分色」を見つけることができた(教職員)	児童	40.1%	43.5%	15%	1.4%
		保護者				
		教職員	0%	84.2%	15.8%	0%
15	地頭方小学校の教育は、信頼できる(保護者) 保護者から信頼される教職員になれている(教職員)	児童				
		保護者	13.8%	74.8%	8.9%	2.4%
		教職員	10.5%	68.4%	21.1%	0%
16	地頭方小学校の先生は、子供を大切にしている(保護者)	児童				
		保護者	14.6%	69.9%	12.2%	3.3%
		教職員				
17	地頭方小学校は、大事なことについては保護者と連絡を取り合い、一緒に子供を育てようとしている(保護者)	児童				
		保護者	15.4%	61.0%	21.1%	2.4%
		教職員				
18	間違いや失敗があっても、あきらめずに取り組めた(児童) お子様は、間違いや失敗があってもあきらめずに取り組めた(保護者)(教職員)	児童	37.4%	49.7%	11.6%	1.4%
		保護者	7.3%	62.6%	29.3%	0.8%
		教職員	5.3%	94.7%	0%	0%

			知っている	聞いた ことは ある	あまり 知らない	知らない
19	地頭方小学校にコミュニティ・ルーム「梅ちゃんルーム」がある ことについて(保護者)	児童				
		保護者	61.0%	20.3%	14.6%	4.1%
		教職員				
20	大人も子供も一緒に学ぶ場(地頭方の民話伝説の読み聞かせなど)があることについて(保護者)	児童				
		保護者	66.7%	14.6%	15.4%	3.3%
		教職員				

成果(とても思う・思うの合計が80%以上)

課題(あまり思わない・思わないの合計が20%以上)